



## 外国出張報告書

平成 26 年 11 月 14 日

1. 出張国名           ラオス
2. 出張月             平成 26 年 9 月～10 月
3. 出張目的           ラオス在来テナガエビの生殖と水温との関係に関する研究の実施及び  
テナガエビの資源管理活動の効果に関する現地説明会：C

#### 4. 成果の概要

ラオス在来テナガエビの産卵・孵化に対する水温の影響を調べ、低水温のほうが本種の産卵・孵化には適していることがわかった。

また、ルアンプラバン県ナプー村において開催された在来テナガエビの資源管理に関する会合に参加した。会議では、将来に向けたテナガエビ資源管理のあり方及び方向性に関する議論が行われた。また、出張者は会場において、LARReC 研究者を交え、出張者の実験によって得られた本種の繁殖生態に関わる知見についてパクセン郡知事、NAFRI 所長および村民に説明を行った。